

工芸界のスター作家を生み出し、日本のほんまもんを知ってもらおう事業

平成26年度 採択事業

工芸業界の将来を考え、活性を図るプロジェクトで起業

京都府の丹波地方南部に位置する南丹市。市の南端を占める園部町で「株式会社ぼくらがつくるところになります」の代表を務める高橋博樹さんは、江戸時代中期の町家を改装した工房を構え、そこを活動の拠点としています。

大学院修了後、建築設計や都市計画の仕事に携わっていましたが、木工家を志して園部町にある京都伝統工芸大学校へ入学します。しかし、「卒業する頃は工芸業界全体がどんどん衰退してきており、この状況をどうにかしないといけないと思いました。やりたい事を見つけ、希望を持って勉強しても社会で生きて行く事ができないのはおかしいことです」と、この業界を何とか活性化させたいという思いのもと、卒業と同時にNPO法人京都匠塾を立ち上げます。



古い町家を改装した趣のある工房

そして、若手職人が活躍できる場づくりをサポートする業務をはじめ、まちづくりや地域活動の支援、子ども達にもものづくりへの興味を深める教育など、さまざまな活動を10年近く行ってきました。

子ども達にもものづくりを教えることが業界の活性化につながる

そうした活動の中で、「業界の活性化には、地域社会と共に子どもへの教育を同時に考えるのが大切」だと考え、市とも連携して小学校や中学校へ「ものづくり」の出張授業を行ったり、ものづくりと勉強を両方教える「ツ・クール」という塾も主催しています。

「子ども達は、それまで組み立てキットになっているようなものしか知りませんでした。でも、僕たちの教室では板一枚から箱を作らせたりします。採寸する、ノコギリで切る、といったことを通じて上手にものを作るのは難しいことなんだということが解るわけです」。

また、作る楽しさだけでなく、「そこに込められた

伝統製品の活用



伝統工芸の技術を活かしたものづくりです

おもいも体感してほしい」と語る高橋さん。「こういうことをやっていると、子ども達の目の変わる瞬間があるんですよ。『これは、本物やね』と感想を言う子も出てきますから、この子達が大きくなった頃には『本物を見る目』が養われているかもしれませんね」。

工芸界の吉本興業を目指して

また、「大量生産・大量消費の社会の中で見失われつつある本当の『人との』との関係を取り戻したい。そのためにも『本当のものづくり』というものを多くの人に知ってもらいたい」という強い思いのもと、工芸家ははじめ優れた技術を持つ職人から生み出される作品を、その作り手の思いと共に社会に届けるプロデュース会社「株式会社ぼくらがつくるところになります」を設立します。

「略して『ぼくなり』といいますが、ここでは工芸界の吉本興業を目指します。要は、タレントを抱える芸能プロダクションの工芸家版でして、これからの工芸業界を担う若手職人や作品をマネジメントし、発信力を高めることがメインです。工芸の持つ魅力や作り手の思いを最大限に伝える機能が今は欠けていますので、しっかりとした体制を構築することがこれからは大切です」と考える高橋さん。将来、工芸界のスター作家を輩出することで子ども達がものづくりの世界に憧れるようになって



くると回して出し入れする木の名刺入れ -lens-

くれば、必ず産業の活性化につながるとも考えています。

人から人へ思いを伝える、本当のものづくり文化を育てたい

「ぼくなり」が行う事業は、大きく3つに分かれています。「木のもの事業」では伝統工芸の「ほんまもん」の技術を活かして、ダイニングテーブルやダイニングセット、キャビネットや飾り棚などの木工家具をオーダーメイドで制作します。また、お箸や名刺入れなど家庭やビジネスで使えるオリジナルの小物類なども制作します。

「かりもの工芸品事業」では、高品質な木工家具や工芸品をレンタルします。これは「ものは良いけど、買うにはちょっと手がでない」という方に低価格でレンタルすることで、気軽に「ほんまもん」の良さを感じてもらおうことを企図しています。

「つくり手応援事業」では、若手の工芸家が継続して活動できるようマネジメントを行い、スター工芸家として育つための各種プロモーションを手がけます。

こうして、「工芸品をもっとあたりまえに」をキーワードに、人が人を思うという日本人本来のあたたかい文化が「ほんまもん」の工芸品を通じて育つよう、高橋さんはこれからも一つひとつ作り手と使い手のつながりを大切にしながらものづくりに取り組んでいきます。



シンプルさの中に精緻な職人技が光る木のお箸

事業概要

株式会社ぼくらがつくるところになります
<http://www.bokunari.co.jp>
 代表：代表取締役 高橋 博樹
 業種：工芸品、日用品雑貨等の企画、製造、販売
 創業：2014年7月
 住所：〒622-0013 南丹市園部町本町28番地
 TEL：0771-68-1731 FAX：0771-68-1732